

学校だより

ひがし

学校教育目標 【自ら未来を切り拓く 東っ子】

重点目標 【自分の考えをもち表現しよう

【自分も人を大切にしよう】

【目標に向かって、挑戦しよう】

令和8年2月19日発行

第10号

伊豆市立修善寺東小学校

TEL 055-72-0420

校長 内田 経子

大人として子供に伝えたい言葉、見せたい姿は？

6年生の廊下には、国語の授業の発展として子供たちが調べた「自分がぐっときた言葉」が掲示されています。有名人等が語った言葉とともに、その言葉に惹かれた理由も書かれていました。前に進む勇氣、努力の大切さ、何気ない日常のありがたさ…卒業を1ヶ月後に控え、子供たちが胸に秘めるものを想像し、微笑ましくもそっと背中を押してあげたい気持ちになります。

わたしがかつて、ぐっときた言葉は、教育雑誌に載っていた静岡出身のNHKアナウンサー久保田祐佳さんがインタビューの中で語った言葉でした。「子供たちに伝えたいことは何ですか？」の問いに対して、久保田さんの「大人になるって楽しいよ」というもの。

この言葉に出合った13年程前のわたしは、担任として授業をすること、子供と一緒に笑ったり、悩んだりする生活は充実していました。しかし、子供たちの「先生、今日はクラス遊びに来られる？」の問いに「宿題を見ないといけないから、それが見終わったらね」と答え、「先生、昨日さあ…」の言葉にも、何かの作業をしながら「うん、うん」と返事はするもののその子の顔をしっかりと見ることができていたか…。いつも小走り、「ノート出して！」「ほら、ゴミを投げない」そんなことばかり言うわたしを見て、クラスの子供たちは「大人になるって楽しい」って思っているか？と考えると、出張へ行く新幹線の車中で、そのインタビュー記事を読みながら図らずも泣いてしまったことを覚えています。「あんな大人にはなりたくない」になってはいないか？

自分が子供の頃、まわりにいる大人が自分の未来の姿でした。今はインターネットで世界とつながり、未来の自分を数多、子供たちは想像ができるでしょう。しかし、一番身近で、生き方の見本になるのは、家族、地域で出会う方々、学校の教員や習い事のコーチなどでしょうか。6年生が選んだ言葉を見ながら、自分はその言葉の中で少しでも体現できている部分はあるか？と自問し、改めて10年以上前に出合った「大人になるって楽しいよ」の言葉を思い出しました。

世の中のニュースは明るいものばかりではなく、わたしたち自身もよいことばかりが起ることはなく、落ち込んだり、ときに誰かを妬んだりしたくなる時があります。それでも翌朝には子供たちに笑顔で「おはよう」と言いたい。人として「あんな大人になりたい」「あんな生き方をしたい」と、子供たちが明るい未来を想像できるよう、日々の生活を見直していきたいとも感じます。

学校でも教職員が子供と向き合える時間をどうしたら確保できるかを考え、子供たちに心の余裕をもって対応できる環境づくりをしたいと考えています。目の前にいる大人の1人として、子供たちの希望の光となるように。

3月の主な予定

- 2日（月）新日課スタート
特別日課 5時間 下校 14:25
- 3日（火）特別日課 5時間 下校 14:25
小松先生最終日
- 4日（水）K 地区児童会 集団下校 14:25
新旧 PTA 運営委員会
- 5日（木）特別日課 5時間 下校 14:25
- 6日（金）特別日課 5時間 下校 14:25
- 9日（月）先生との交流会（6年）
- 11日（水）K
- 13日（金）特別日課 4時間（1～3年）
卒業式総練習（4～6年）
- 18日（水）特別日課 3時間（1, 2, 3, 6年）
修了式（1～5年） お弁当（4・5年）
- 19日（木）卒業式（4～6年） SSD
～春休み～
- 27日（金）離任式



持久走記録会



切り絵体験（6年）



雪の学校



「みんなが主役の学校 ～自分らしく輝こう～」

令和7年度もあと少しで終わりを迎えますが、現在学校では来年度の学校運営に関して、本年度の反省や、保護者や地域のご意見、子供の思いなどを考慮しながら、来年度方針を少しずつ決定しています。子供たちの「やってみたい!」という思いが生まれ、それを友達や教師、地域との関わりの中でより深まり、そして次の「やってみよう」「続けてみよう」という思いに繋がっていく、そんな学校を目指していきたいと考えています。こういった子供の思いが育むように、交流・本物とのふれ合いなどに力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

また、本年度の取り組みで、良かった点はより活動を充実させ、効果の少なかった点は改善していきながら行事や活動を考えていきます。よろしくお願いします。

お知らせください!

学校教育に於いて、教師による「体罰」は絶対にあってはいけない行為です。もし本校の職員に、「体罰」に該当するような行為があった場合は、教頭（72-0420）まで、お知らせください。

※体罰とまで行かなくても、子供が心配したり、困っていたりすることがありましたら、教頭までご相談をください。

